広報しもかわ

Public Relations Shimokawa

11
2026
令和8年

No.785

2 しもかわ財団の活動紹介　～つなぎ・ささえ・つくる～

5 「後継者をお探しの事業者」を募集します

6 共育にゅーす

8 町長室から　ほか

9 ふるさと下川を応援しませんか？「東京下川会」会員募集中

10 まちの話題

12 消防署より

13 暮らしのお知らせ ほか

15 図書室だより　ほか



10月10日　下川小学校学習発表会　より

しもかわ財団の活動紹介
～つなぎ・ささえ・つくる～

課題解決型地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市部から移住した人が地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る総務省の制度です。しもかわ財団では、地域の課題解決に直接関わる協力隊を「課題解決型地域おこし協力隊（シモカワベアーズ）」として受け入れています。

ヌマちゃん、下川を駆け回ってます！



こんにちは！「ヌマちゃん」こと菅沼亮輔です。長崎市から2025年4月に着任しました。役場・学校・地域の現場に入り込んで困りごとを見える化し、デジタルと人のつながりの両面から小さな改善を試しては広げています。

〈平日の取組み〉

・一人ひとりの「困った」に寄り添いたい。そんな思いから「スマホ相談室」は一方的に教える形をやめ、悩みを聞く相談室にしました。上名寄老人会へも出張しています。日進月歩のAIを一人で追うには限界があるからこそ、「しもかわそこにAIはあるん会」でみんなの使い方をシェアしています。

・町外の同世代と出会い、新しい刺激を受けてほしい。そんな思いで9月上旬にインターン生と町内の若手の交流会を開き、30人超が集まりました。タノシモカフェの企画やイベントの実行委員も務めています。

・役場や山びこ学園、学校では、負担を減らす業務改善に取り組んでいます。職員や先生が高齢者や子どもたちと向き合う「本来の仕事」に時間を使えるようにするためです。定住施策では、広報先月号で紹介したアンケートなどを分析し、型どおりではない、下川らしさを大切にした検討を進めています。



▲若手交流会の様子

〈休日の取組み〉

商工会青年部ではSNS担当として青年部が受け継いできた歴史などを発信しています。9月20日の「たんのカレーライスマラソン」では、下川の4人で177チームから選ばれた29チームに入り、仮装コンテストに出場。入賞は逃しましたが、ルパン三世の寸劇で下川のうどんを猛アピールしてきました。

最後に、個人的な目標をひとつ。道の駅巡りは全126駅中、残り9駅！今年度中の制覇を目指します！



▲たんのカレーマラソン

■お問い合わせ
総務企画課　企画調整係　☎4-2511　内線227
しもかわ地域振興機構（通称：しもかわ財団）☎4-3511

町内のお店や地域の歴史を知り、町民同士のつながりを育む
「町内ツアー」を開催しました。

町内のお店や地域の歴史を知り、町民同士のつながりを育む「町内ツアー」を開催しました。

9月28日には「町民とお店をつなぐプロジェクト」として、町民10人が「すずめキッチン」と「しもかわ森のブルワリー」を訪問しました。

すずめキッチンでは、手作りの弁当やオードブル、店内で使用する町産材の器などについて伺いました。店内では手作りの温かな料理を味わえるほか、15人程度の貸し切りや会食にも対応しています。店舗が入る「tekteku（てくてく）」は、木工作家や陶芸愛好会などが集まる、ものづくりと食の拠点です。料理だけでなく、器や家具にも地域の作り手の仕事が生かされています。

しもかわ森のブルワリーでは、移住や開業の経緯、ビール造りへの思いを伺いました。町内で採取したトドマツや栽培されたホップを使い、瓶詰めやラベル貼りまで一本ずつ手作業で仕上げています。参加者からは「店主の顔が分かり、お店に行きやすくなった」「お酒が飲めなくても楽しめることを知った」といった声が寄せられました。



▲町民とお店をつなぐプロジェクト

また、札天山収蔵展示施設を訪ねるツアーには24人が参加しました。施設には、かつて町内で使われていた生活道具や農具などが保存されています。案内役の解説を聞きながら、道具の用途や昔の暮らしについて学びました。

見学中には、当時を知る参加者が冬の生活や学校、交通などの思い出を語り、若い世代へ伝える場面も見られました。参加者同士で道具の使い方を教え合うなど、世代を越えた交流も自然に生まれました。アンケートでは、解説の分かりやすさが好評で、鉱山や林業などを取り上げてほしいという意見も寄せられました。

今回のツアーは、お店を営む人の思いや、町に残る資料と記憶に触れ、身近な地域の魅力を再発見する機会となりました。今後も、人や場所との出会いを通して下川を知り、町民同士がつながる取り組みを進めていきます。



▲札天山収蔵展示施設を訪ねるツアー

しもかわ人名鑑 SHIMOKAWA-JIN MEIKAN

大人も子どもも「一緒に食べる」を楽しめるように

下川でのリアルな暮らしぶりを町内の方にお話ししていただくコーナー。
今月は、アレルギーフリーのカフェ「jinnoki cafe」を営む小林加奈恵さんです。



町外での保育士の仕事やカフェ開業を経て、結婚を機に下川に戻ってきました。久々に下川の住民になってからは、個性豊かな新しいお店が増えたなと感じます。ジャンルも被らず、地域全体が応援している雰囲気もあって。一方で、大人同士がスポーツを楽しむイベントや集まりが減ったように感じますね。パークゴルフやソフトボール、バレーボールなどがあったと思います。私たち子どもは、親がスポーツをしている傍らで遊んでいました。子どもだけでなく大人も全力で楽しんでいた雰囲気が好きだったので、もし今でもそういう集まりや場があったらいいなと思います。

「jinnoki cafe」（ジンノキカフェ）は最初名寄でオープンし、２０２４年に下川に移転して今に至ります。提供している焼き菓子やケーキ、タルトやお弁当は３大アレルギーフリー（卵乳製品小麦粉不使用）でヴィーガンです。

保育士をしていた頃、アレルギーを持つ子だけ違うおやつを食べている様子を見て、みんなで食べることを楽しめる時間や場所を作りたいと思ったのがきっかけです。大人でもアレルギーを持っていたり、小麦を控えていたりする方もいます。そういう方から「ずっと続けてほしい」という言葉をもらうと「jinnoki cafe」が必要な人に届いてきたのかなと感じます。

今後は、「jinnoki cafe」の焼き菓子を納品できる場所を増やしたいですね。お店は毎週土曜のみ開けていますが、もっとアレルギーフリーのお菓子を食べられる機会を提供したいです。

他には週に１回、テイクアウトのランチボックスを始めています（月曜日のみ）。地産地消を目指して、北海道産のお米や野菜を使い、もちろんヴィーガンです。カフェ自体はこじんまりしたお店ですが、外を眺めてぼーっとしたい時や、一息つきたいときはぜひお越しください。目の前にスキーのジャンプ台も見え、店内からの景色も気持ちがいいですよ。



「後継者をお探しの事業者」を募集します
～地域おこし協力隊制度を活用した事業承継支援～

町では、後継者不足により将来的な廃業や閉店を検討している事業者の事業承継を支援するため、地域おこし協力隊制度を活用した後継者候補の受入れを実施する予定です。

地域おこし協力隊とは、都市部から地方に移住した方が、地域活性化や地域課題の解決に取り組みながら、その地域への定住・定着を目指す制度で、地域おこし協力隊員を将来の後継者候補として募集し、事業者のもとで技術や知識、経営ノウハウなどを学ぶことで、事業承継につなげることを目指します。



なお、地域おこし協力隊員の活動期間中の報償費や活動に必要な経費は町が負担します。

〇募集対象

次の全ての条件を満たす事業者

・後継者不在などにより、**概ね３年以内に廃業・閉店（業種不問）を予定していること。**

・地域おこし協力隊員の活動期間中、事業に必要な技術や知識、経営ノウハウなどの指導ができる環境を整えられること。

・地域おこし協力隊員を**将来の後継者候補として受け入れる意向があること。**

〇留意事項

・地域おこし協力隊員の募集及び採用に係る手続きは町が行います。

・地域おこし協力隊員の**活動期間中の報償費や活動費は町が負担します。**

・本事業は、地域おこし協力隊員の応募があった場合に実施するものであり、応募がない場合は実施できません。

・本事業の実施は、関連予算の議決を前提としています。

・**地域おこし協力隊員の採用や事業承継の成立を保証するものではありません。**

■お問い合わせ　産業振興課　商工観光係　☎４−２５１１　内線３１８

共育にゅーす



9/17　小学校　クラブ活動

15名の地域の方にご協力いただき、秋晴れの中でクラブ活動を実施。活動を終えた子どもたちからは「楽しかった！」の声がたくさん聞かれました。

サイクリング



講師:田中康之さん

粘菌を見つけよう



講師:高松峰成さん

パークゴルフ



講師:西島勲さん、他

百人一首



講師:三条由美子さん、他

陶　芸



講師:岡崎哲子さん、他

トマト収穫



講師:藤原大樹さん、他

9/14　第2回 学校運営協議会

9月14日、第2回学校運営協議会を開催しました。会議では、下川小・中学校から前期の学校評価や教育活動の様子が報告され、児童生徒の成長や学校の取組、今後の課題について共有しました。協議のテーマは「メディアを適切に判断して利用するために必要なこと」。子どもたちの健康を守り、自分で適切に判断する力を育むために、学校・家庭・地域が一緒にできることを話し合いました。意見交換では、メディア利用の実態調査や、保護者・地域も参加する勉強会の開催などのアイデアが出されました。





10/7　下川中学校　2年生　職場体験

10月7日、下川中学校の生徒が町内の事業所で職場体験を行いました。今年度は15事業所にご協力いただき、実際に働く現場でさまざまな仕事を体験しました。

この活動は、働くことの意義や社会との関わりについて理解を深め、自分の将来や進路について考えることを目的としています。生徒たちは、職場での体験を通して、仕事に必要な知識や技術だけでなく、責任を持って働くことや、人と協力することの大切さを学ぶ機会となりました。受け入れにご協力いただいた事業所の皆さま、貴重な学びの機会を提供していただき、ありがとうございました。

＜受け入れ事業所＞
しもかわ観光協会、しぼりん、山本菜奈さん（下川町地域活性化起業人）、あけぼの園、アイ・セプト、町立病院、セイコーマート、セブンイレブン、坂井モータース、こども園、渡邊大介さん（農家）、シモッカ、ナカジマ薬局、矢内菓子舗、共同調理場





10/14-16　下川商業高校　1年生　インターンシップ

10月14-16日、下川商業高校1年生のインターンシップを行いました。下川町に住む生徒4名が、下川町内で3日間さまざまな仕事を体験しました。
日が経つにつれ、作業や接客にも慣れていきいきと活動している様子がありました。お仕事を体験するだけでなく、働いている方々に質問をする時間も設けていただき、進路や普段の生活に役立つ心がけや考え方を教えて頂いている様子もあり、とても充実した時間となっていました。受け入れにご協力いただいた事業所の皆さま、貴重な学びの機会を提供していただき、ありがとうございました。

＜受け入れ事業所＞
矢内菓子舗、月と野菜、きたつむぎ商店、美花夢、小林農園





町長室から 第10回

9月7、8日に、下川スズキ会本社訪問に我孫子議長とともに同行し、本町にテストコースを設置しているスズキ株式会社の本社に訪問しました。

7日夜は、スズキ株式会社幹部職員の皆様との懇談会を開催いただき、下川町の近況、スズキの新型車の話題など、幅広い意見交換などをさせていただくとともに、親しく交流させていただきました。

8日朝は、鈴木俊宏社長との懇談の時間をいただき、下川町の近況、日頃お世話になっている御礼や7月の下川商業高校経済交流大使事業の御礼、新型EVの話題などをお話しさせていただきました。

その後、下川スズキ会の皆様は、スズキ歴史館の見学へ。私は、サステナビリティ推進プロジェクト環境企画推進課の皆様と環境対応に係る下川町とスズキ株式会社の今後の事業推進について打合せを行いました。

帰路の羽田空港では、当初、新しい北側サテライト27番ゲートから出発の予定でしたが、ゲート到着後、突然アナウンスがあり33番に変更され、かなりの距離を歩きましたので、北側サテライト入口まで、新しい自動走行ｉｎｏ（イイノ）で移動しました。



飲食店の皆さまへ

「mottECO（モッテコ）」参加事業者募集

mottECO（モッテコ）は、飲食店で食べきれなかった料理を、お客様が自己責任で持ち帰ることにより食品ロス削減を目指す取り組みです。

町では、mottECOに取り組む事業者を募集しています。**参加事業者にはmottECO容器とポスターを無料で配布します。**ただし、**配布数には限りがありますので、なくなり次第終了となります。**

食品ロス削減に向け、ぜひご参加ください。

mottECO

■お問い合わせ　産業振興課農業振興係　☎4-2511　内線320



＼＼ふるさと下川を応援しませんか?／／
「東京下川会」会員募集中



平成５年の発足以来、ふるさと下川を想う仲間たちが集い、親睦や情報交換を深めている「東京下川会」。現在、約１６０名の会員が交流を続けています。
下川町が大好きな方、下川との繋がりを持ちたい方は、ぜひお気軽にご入会ください。

〇活動内容　会員相互の親睦、情報交換、下川町との交流など
〇年 会 費　２，０００円

■お問い合わせ
産業振興課　☎４−２５１１　内線３１８

【お知らせ】
今年は１１月２１日(土)に東京都内で総会を予定しています。

令和９年「はたちを祝うつどい」参加者募集のお知らせ

令和９年１月９日（土）１４時よりバスターミナル合同センターで開催される、今年度２０歳になる方をお祝いする「はたちを祝うつどい」の参加者を募集しております。
対象は平成１８年４月２日から平成１９年４月１日までに生まれた方で、次のいずれかの事項に該当する方です。

〇下川町に住民登録している方
〇親または兄弟姉妹が町内にお住まいの方
〇下川町に住んだことがある方

出席を希望される方は、１２月９日（水）までに教育委員会へお電話もしくはGoogleFormよりお申込みください。
※ご案内は、令和８年１０月時点で下川町に住民票が登録されている方にはお送りします。なお、案内文が届かない場合でも、上記の事項に該当する方であればどなたでもご参加いただけますので、担当までお問い合せ下さい。

■お問い合わせ
教育委員会　社会教育係
☎４−３５００

▲令和９年はたちを祝うつどい
申込ＱＲコード



▲令和８年１月１０日実施の「はたちを祝うつどい」の様子

下川小学校学習発表会

10月10日　下川小学校

今年の学習発表会は、「笑顔いっぱい！～心を１つにがんばろう～」をテーマに開催されました。発表は１年生から６年生まで学年ごとに行われ、演奏や演劇、合唱、落語、ダンスなど多彩なプログラムを披露しました。児童たちはテーマのとおり仲間と心を１つにしながら、これまでの練習の成果を存分に発揮し、どの発表にも笑顔で元気いっぱい取り組みました。工夫を凝らしたユニークな発表も多く、会場は大きな拍手とたくさんの笑顔に包まれました。



▲２年生



▲１年生



▲４年生



▲３年生



▲６年生



▲５年生

枝打ち体験 キャンパス交流（育樹祭）

9月16日　班渓国有林

班渓国有林で上川北部森林管理署主催、下川町共催の「枝打ち体験キャンパス交流（育樹祭）」が開催されました。当日は、士別翔雲高校と下川商業高校の１年生２４人が参加し、アカエゾマツの枝打ち作業を体験。節の少ない良質な木材を育てるための作業に取り組み、森林づくりや林業への理解を深めました。







ひとり暮らしのお食事会

10月7日　バスターミナル

下川町民生委員児童委員協議会主催の「ひとり暮らしのお食事会」が開催されました。当日は、保健師による血圧測定や健康相談のほか、輪投げやビンゴゲームなどを楽しみ、参加者同士の交流を深めました。昼食にはお弁当が振る舞われ、和やかなひとときを過ごしました。







119番通報について



消防署より

■お問い合わせ
下川消防署 ☎4-2119

9月末現在
救急出動件数　95件
火災件数　1件

119番は、助けが必要な方のための緊急通報です！
119番通報をすると、指令員が消防車・救急車の出動に必要な情報を順番にお聞きします。**慌てず、落ち着いて**質問にお答えください。

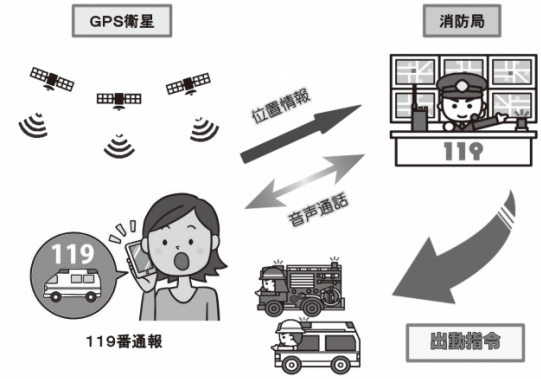
必ずお聞きすること

①消防車・救急車が向かう住所
住所がわからない場合は、近くの大きな建物や交差点など目印になるものを伝えてください。

②現場の状況
救急車が必要な場合　誰がケガをしたのか、または具合が悪くなったのか、意識や呼吸などの状況をお聞きします。
消防車が必要な場合　何が燃えているのか、逃げ遅れた人やケガ人はいないかなどの状況をお聞きします。
※そのほかにも、必要なことを指令員からお聞きします。

③119番通報されている方のお名前と連絡先
119番通報後、消防車・救急車が到着するまでに場所の確認等で問い合わせることがあります。

携帯電話またはスマートフォンから１１９番通報をすると、名寄消防署につながりますので「下川です」と伝えていただければ、下川消防署に電話が転送されます。



携帯電話等から119番につながらないときは？

慌てることなく、公衆電話を利用するか、周囲に助けを求めて通報を！
通信・通話障害が発生し、携帯電話等から119番通報がつながりにくい場合は、公衆電話を利用する、近隣の方やお店に119番通報を依頼する、消防署に直接駆け込むなどのご対応をお願いいたします。

スマートフォンから自動で発信する機能について

最近のスマートフォンには、激しい衝撃を受けたときに119番を自動で発信する機能が搭載されているものがあります。
119番通報を受けた消防機関では、通報者から通報内容を確認できない場合、「かけ間違い」か、通報者が電話のつながった状態で意識を失ったのかどうか判断ができません。救急車などが必要ないのに119番が発信されてしまった場合、電話を切らずに「間違いでした、救急車・消防車は必要ありません」とお伝えください。
電話を切ってしまっても、すぐに折り返し電話をしますので、必ず折り返し電話に出て、救急車や消防車が必要かどうかをお伝えください。

暮らしのお知らせ

お知らせ

生活・仕事相談会を開催します

生活や仕事などに関する悩みごと、困りごとなどについてご相談ください。【要事前予約】

■開催日時
11月10日（火）
12月8日（火）
①午前10時～午前10時50分
②午前11時～午前11時50分
の2回

■開催場所
総合福祉センター「ハピネス」

■申込期限
開催日前日の午後3時までに電話、FAX、メールで予約してください。

■相談料　無料

■申込先・実施主体
自立相談支援事業所
「かみかわ生活あんしんセンター」
旭川市豊岡1条2丁目1－16
☎0166-38-8800
FAX0166-33-0021
メール anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

■その他
相談開始時間確認等のため、センターにより電話連絡することがあります。

お知らせ

「特設人権心配ごと相談所」を開設します。

12月10日（人権デー）は、国連で「世界人権宣言」が採択された日です。この日を最終日とする1週間（12月4日から10日まで）を「人権週間」と定め、「世界人権宣言」の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚に努めています。本年は、第78回目の人権週間を迎えますが、次により「特設人権心配ごと相談所」を開設しますので、人権問題、家庭問題、「いじめ」問題をはじめ、近隣関係のいざこざ等の身近な問題など、お気軽にご相談ください。相談料は無料で、秘密は堅く守られます。

■日　時
12月7日（月）
午前10時～午後3時

■場　所
総合福祉センター「ハピネス」

町長から推薦を受け、法務大臣から委嘱された人権擁護委員は次の皆さんです。

○品地　和彦
☎4-2111
○松野尾　道雄
☎4-4312
○石谷　恵美
☎4-2875

人権擁護委員は自宅での相談にも応じられます。難しい手続きはありません。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

■お問い合わせ
保健福祉課　福祉係
☎4-2511
内線726
4-3356（直通）
名寄人権擁護委員協議会（旭川地方法務局名寄支局内）
☎01654-2-2349

募　集

「北海道立旭川高等技術専門学院（MONOテク旭川）」では、令和9年度入校生を募集しています。

■募集訓練科
システム制御技術科、自動車整備科、印刷デザイン科、色彩デザイン科、建築技術科、造形デザイン科

■選考別日程
【学校長推薦（高校卒業見込みの方）・自己推薦選考（既卒の方）】
○願書受付期間
11月2日（月）～11月20日（金）まで
○選考試験日
11月25日（水）
○試験内容　面接試験

【一般選考】
○願書受付期間
11月24日（火）～12月10日（木）まで
○選考試験日
12月16日（水）
○試験内容
学力試験（国語・数学）、面接試験

■選考場所
北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目1番1号）

■お問い合わせ
北海道立旭川高等技術専門学院
☎0166-65-6667



3歳になる「まちのたから」をご紹介します!

おたんじょうびおめでとう
まちのたから



班渓（おかやま） 岡山（しの） 紫乃 ちゃん
（令和５年１１月２９日生まれ）

好きな食べ物　唐揚げ・ハンバーグ・ポテト・チーズ・きのこ
好きなあそび　おままごと・シール貼り（シールブック）

いい肉（イイニク）（1129）の日生まれ、お肉大好きなしーちゃん♡
お野菜やお魚もいっぱい食べて大きくなってね！！
とおる・あやか

運転免許証更新時講習
（11月２日から12月10日まで）

駅前交流プラザよろーな会場

■違反運転者講習（２時間）
11月19日（木）午後７時

■初回運転者講習（２時間）
11月12日（木）午後２時

■一般運転者講習（１時間）
11月５日（木）午後２時
11月12日（木）午後５時30分
12月３日（木）午後２時
12月10日（木）午後５時30分

■優良運転者講習（30分）
11月５日（木）午後１時
11月９日（月）午後６時
12月３日（木）午後１時
12月10日（木）午後７時

下川交通防犯センター会場

■優良運転者講習（30分）
11月２日（月）午後１時

【公営住宅等の入居者募集】

元町あけぼの団地などの入居者を募集します。

■申込期限：１１月２０日（金）まで

入居基準や必要書類など詳細は下川町公営住宅情報サイトをご覧いただくか、町民生活課維持管理係（☎4-2511）へお問い合わせください。

下川町公営住宅情報WEB

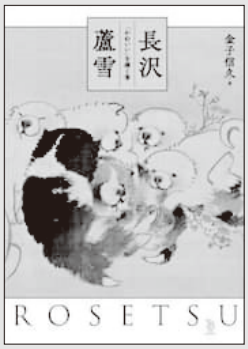
図書室だより

☎4-2511 内線 816

※ご利用いただける時間は午前１０時～午後６時です。
※毎週水曜日と、３日（火）、２３日（月）は祝日のため休室します。
※道立図書が新しくなりました。ご利用ください。
※図書室にある本や新しく入った本はご自宅のインターネットからも検索できます。
＊アドレス　https://ilisod007.apsel.jp/lib-shimokawa/

今月のオススメ本

『 長沢蘆雪「かわいい」を描く筆 』



長沢 蘆雪／画　金子 信久／著
東京美術

無邪気な仔犬に水浴びするスズメ、おじさんや子供の姿も蘆雪ならこんなにかわいく描いてしまう。ゆるゆる、もふもふの動物たちが大集合。

図書室に新しく入った本

『 生きづらいぼくたちへ 』

一般書



莉犬／著
水鈴社

２．５次元アイドルグループ「すとぷり」結成１０周年。はじめて綴った感動の自伝的エッセイ。

『とろとろおばけ』

児童書



たなか ひかる／著
文響社

こんどのおばけはレンチンすると、とろとろふにゃふにゃ。おやこでわらってたのしめます。

この他にもたくさんあります。

戸籍の窓口（敬称略）

（9月11日～10月10日受付）

お悔み申し上げます

住所	氏名	年齢
二の橋	髙垣 泰江	91歳
錦町	横井 裕	72歳
錦町	橋詰 美鶴	87歳
旭町	眞田 喬	85歳
班渓	日野 ナツ	93歳

皆様から寄付をいただきました。ありがとうございます。（敬称略）

（9月16日～10月15日受領分）

・下川町に

一般事業として

泉　孝典（東京都）

ふるさとづくり事業として

木下　陽子（二の橋）

山びこ学園支援事業として

三浦　仁嗣（東京都）

・社会福祉協議会に

生前のご交誼に謝して

東京都　横井　祐未（亡父）
班渓　日野　秀世（亡母）

編集後記

冬の足音が近づき、雪虫が舞う季節となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

10月は下川小学校の学習発表会を取材しました。子どもたちの元気いっぱいの発表に、カメラ越しでも自然と笑顔になりました。

広報を担当して約2年になりますが、カメラ撮影には慣れたような、まだ慣れないような気持ちで毎回シャッターを切っています。一瞬一瞬の動きや会場の明るさ、撮影アングルなど、写真撮影には難しさがあります。私は素人ですので、プロのカメラマンのように思いどおりに撮影できないことも少なくありません。現在はデジタルカメラのため、その場で写真を確認できますが、昔はフィルムカメラで撮影していたことを思うと、限られた枚数の中でベストな一枚を収めなければならず、当時の担当者の苦労は相当なものだったのだろうと感じます。

これからは天候が不安定になる日も増え、本格的な冬へと向かっていきます。体調管理に気を付けながら、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

（T・K）

2026年9月末現在
人の動き（　）は前月比

■人口	2,717	（－ 8）
男	1,332	（－ 2）
女	1,385	（－ 6）
■世帯	1,558	（－ 5）
出生	0	死亡　5
転入	3	転出　6

交通事故死ゼロ日数
4129日

まちのカレンダー

◎日程や場所などが変更になる場合があります。
　ご利用、お申込みの際は、必ず担当にご確認ください。
◎紙面の都合上行事や施設の名称を省略しています。
◎会議は一般の人が傍聴できるものを掲載しています。

◎あそびの広場：就学前の乳幼児と保護者の交流の場です。
◎0歳児あそびの広場：0歳児と保護者の交流の場です。
※いずれも場所は認定こども園「こどものもり」です。
◎町立病院夜間診療：受付は18:30までです。



11

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
11/1 町民文化祭	2 下川町表彰式　10:00	3	4	5 あそびの広場　10:00	6 乳児相談(9～10か月児) 9:30	7
8	9	10 0歳児あそびの広場 10:00 乳幼児予防接種 13:00	11	12 あそびの広場　10:00 町立病院夜間診療	13 冬の交通安全運動 (22日まで)	14 こども園発表会 9:00
15	16 五味温泉休館日	17 乳幼児予防接種 13:00	18	19 あそびの広場　10:00	20	21
22	23	24 乳幼児予防接種 13:00	25 0歳児あそびの広場 10:00	26 あそびの広場　10:00 町立病院夜間診療	27	28
29	30 がん検診バスツアー 7:30 町道民税第3期納期限	1 乳幼児予防接種　13:00	2 乳児相談(6～7か月児) 9:30	3 あそびの広場　10:00	4	5

12

【編集・発行】　下川町役場総務企画課
企画調整係
〒098-1206 北海道上川郡下川町幸町63番地
☎01655-4-2511　FAX 01655-4-2517
URL https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp
E-mail s-koho@town.shimokawa.hokkaido.jp